

# 伊丹市文化財ボランティアの会 火曜会通信

第50号

発行日：平成23年8月1日

発行：伊丹市文化財ボランティアの会

発行所：伊丹市千僧1丁目1番地

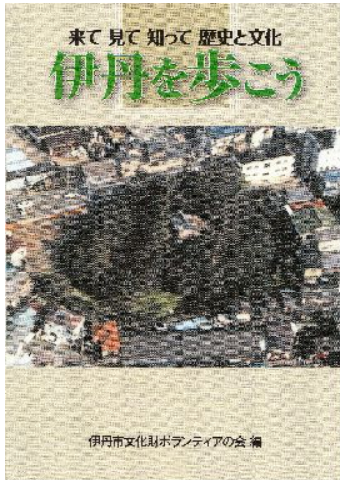
伊丹市教育委員会事務局内

## 「伊丹を歩こう」新版発行される

「来て見て知って歴史と文化 伊丹を歩こう」は、1996年に出版した「ふるさと探訪 文化財を訪ねて」を大幅に改訂して、このほど新版発行された。

おもな改訂は以下のとおりである。

- ・ 写真、地図をすべてカラーとした。
- ・ 縦書きを横書きに変更した。
- ・ 歴史年表と、時代ごとの伊丹ゆかりの人物の章を追加した。



「伊丹を歩こう」はA5判 102 ページで 1500 部作製する。

取り扱いは阪急伊丹駅ビル3F リータ、JR 伊丹駅観光物産協会、旧岡田邸の3 箇所として、頒布価格は1部800 円。

去る6月15日に伊丹市役所でプレス発表を行い、各紙により「伊丹を歩こう」の新版発行が報道された。

左は各紙に掲載された写真。



各紙に掲載された写真

新版発行の報道により、龍野、丹波、神戸市在住の方より、さっそく購入希望の連絡が入りました。

広く兵庫県下の皆さんが伊丹の歴史と文化に関心を持っていただくことは、ボランティア会員として何よりの喜びです。

(記 松田)

## 「伊丹を歩こう」出版記 林 亨

平成19年6月23日、最初の編集方針会議を開いた。無料で配られる小冊子では物足りないし、学術書のような重いものでなく、購入者が本当に読んでくれる、親しみの持てる内容にしよう。そこで全頁カラー印刷として、できるだけ写真を取り入れ、枚数としては100ページを目指すことになった。

旧版「ふるさと探訪・・・」の在庫があり、作業はとくに急ぐ必要はないので、じっくり時間をかけて編集することになった。結局足かけ4年、途中挫折しそうになったが平成23年4月についに完成することができた。

振り返ってみると一頁毎に思い出が残る。

無論、執筆者の方々が分担されたのであるが、原稿は関係者一同で査読した。いつ終わるともしれない変更の連続でした。表紙のデザインだけでも幾度かつくりかえた。伊丹市全体の地図の取り込みはわれわれのパソコン能力を超えており、対応に苦勞した。市内の散策コース、歴史上の人物、年表や索引を掲載し、利用者の便宜を図った。

最後に、このガイドブックの執筆を分担された関係者の熱意をここに伝えておく。

## 御願塚古墳と行基ゆかりの社寺めぐり

去る7月16日(土曜)に本年度文化財めぐり第3回として、御願塚・南野・野間地区に点在する行基伝承の寺社めぐりを行った。

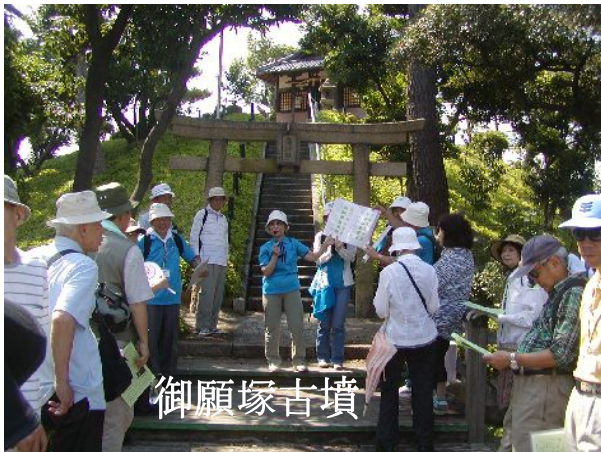
当日はカンカン照りの暑さにもかかわらず一般参加者21名、会員31名、計52名の多数が参加された。

集合場所の御願塚古墳を9時30分に出発約3.6kmのコースをガイドを交えながら2時間かけて巡り歩いた。コースは以下のとおりです。

[集合] 御願塚古墳→須佐男神社→了福寺・南野神社→笹原公園→狐塚(楠原稲荷)→大空寺→健速神社 [解散]

### 御願塚古墳

5世紀後半に造られた帆立貝式前方後円墳として猪名野古墳群で唯一、奇跡的に原型を留めている。県指定文化財、平成いたみ八景指定として清掃、水質、植栽等よく管理され、地元保存会の熱意が感じられた。



### 須佐男神社

旧御願塚村の氏神様で、建物に収められている本殿は江戸時代の神社建築として貴重なもので、昭和47年に市文化財に指定された。鳥居は前後に控柱のある「両部鳥居」で市内唯一のものである、

### 了福寺・南野神社

了福寺は戦乱に巻き込まれないように、寺

院様式ではなく、目立たない民家風の平屋建て形式にしたと言われている。

西となりの南野神社は旧南野村の氏神様で、境内は巨木で覆われ、鎮守の森を形成している。

### 狐塚(楠原稲荷)

古墳時代の円墳と考えられるが、遺物は発見されていない。直径15m程度の小さな塚に巨大なクスノキが茂っている。

### 大空寺

僧行基により創建されたと伝えられており、境内には樹齢数百年の見事な枝ぶりの松がある。当日はお寺のご厚意により本堂を開放していただき、エアコンの効いた涼しい本堂でガイドを受けた。



### 健速神社

旧野間村の氏神様、本殿は鉄筋銅版葺きで昭和49年に改築された。境内にあった大クスノキは平成8年に枯れ、現在はその根幹を保存している。神社の鎮守の森は市の緑地保全地区に指定されている。

### 社寺めぐりを終えて

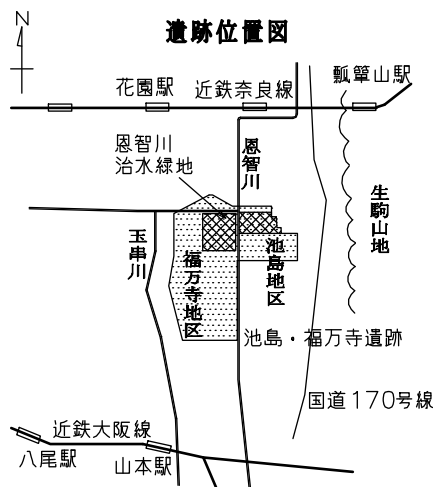
御願塚・南野・野間地区の行基ゆかりの社寺境内はいずれも清掃が行き届き、地区の皆さんにより、大切に管理、保存されていることに感銘を受けました。

今回の文化財めぐりを担当された金曜班の皆様、暑い最中ほんとうにご苦労さまでした。

(記 松田)

## 池島・福万寺遺跡を訪ねて 田畑久子

東大阪市池島と八尾市福万寺にまたがる当遺跡は恩地川治水緑地を造るため 1981 年から始まった発掘調査により明らかになりました。その成果は弥生博物館で“河内のムラの物語”として出品展示されました。大規模な調査と洪水の土砂堆積で保存状態がよく、川と人との係わりの歴史が分かり興味深いので、年代を追って紹介したいと思います。



### 縄文時代早朝・前期

気候温暖で上町台地を残し生駒山地まで大きく海が入り込んでいて、貝などが出土しています。中期以後は淀川、大和川が大量の土砂を運んで陸地化が進み、4500 年前頃から人が住み始め土器が出ています。晩期には海が湖に変わり、人が増え土偶や石棒など祭祀用具が出土します。

### 弥生時代

古い水田跡としては約 2800 年前の福岡県板付遺跡が有名ですが、遅れること 200 年弱で水田が始まり、木製農具・石包丁が水田からコウノトリの足跡が残り、ムラができ土偶・木棺・土器棺・掘建柱建物跡が見られます。

中期には大和川の支流がめまぐるしく流れを変え洪水をもたらしますが復旧し、堰・水路・導水管など高度な水田技術を完成させ、広い面積を水田にします。

### 古墳時代前期

小村が点在し、広く各地を交流、近くはもとより山陰から東海にいたるまでの土器が、また青銅器の鋳型も出土しています。

### 古墳時代後期

朝鮮半島の渡来系の人達が多く住んでいたことが分かっています。勾玉・ガラス玉メノウ玉などの装飾品や子持勾玉など、まつりの道具も出土しています。

### 飛鳥時代

地形の起伏に関係なく南北方向に水路を作り、奈良時代には川を埋め立て新しい水路を作りました。今の条理制地割の始まりが見られます。

### 平安時代

玉櫛荘と呼ばれる荘園となり四角形にきれいに水田が並びます。洪水で埋まった水田の土を盛り上げて畠にする島畠という特有の習俗が見られます。

### 鎌倉・室町時代

真っ直ぐな人工の川、現在の恩地川の始まりが見られます。この頃から山の開発が進み、洪水が多くなり島畠の数が増えていきます。室町時代には生駒山が丸はだかの草原になっていたことが上流の花粉調査で分かりました。死者を弔う梵字と、お経を書いた 7 連の板塔婆が出土しています。

### 江戸時代

河内湖へ注いでいた大和川が大阪湾へ付け替えられ、跡地が新田開発されて、鴻池新田が出現します。水不足のため多くの井戸が掘られ、島畠ではワタの栽培が明治期まで続きます。

### 神津口酒井遺跡との関連

初跡つき縄文土器の浅鉢で知られる神津の口酒井遺跡の人々は、距離的に余り離れていない生駒山麓から移住してきたと言われており、池島・万福寺遺跡と同じルーツかもしれません。



## 春季研修バス旅行記

去る5月17日(火)「江ゆかりの地、近江を訪ねて」と銘打って、長浜城・石田光成生誕地・姉川古戦場・小谷城跡を巡る春季研修バス旅行を実施した。参加36名



### 会員外参加5名の方に感想を聞く

(石橋さん)

今回の旅では小谷城跡の見学が最も印象に残りました。標高495mの小谷山の中腹までシャトルバスで行き、そこから頂上近くにある本丸跡まで歩いて登りました。岩だらけの狭い急斜面の小道を、ふうふう息を切らせながら登りました。小谷城跡には、今では建物などは何も残っておらず、わずかに礎石が残っているだけでしたが、ボランティアの方の詳しい説明で、往時の様子を生き活きと想像することができました。帰るまでには、ちょっとした歴史通になりました。本丸跡に登る途中山腹から見下ろした姉川の古戦場跡や、青々と広がる近江平野のすばらしい景観が、忘れられません。頂上で急に雷雨に襲われ、慌てて下山したのも楽しい思い出です。今日の楽しく有意義な研修旅行を企画運営して下さいました皆様に感謝いたします。

(白井さん)

NHKの大河ドラマ“江”を毎日曜日楽しみに見えています。浅井三姉妹のゆかりの地を訪れる研修旅行に参加させて頂き、有難う御座い

ました。小谷城跡は、ボランティアの語り部の方が本丸跡まで同行してくださって、近江平野を左手に眺めながら詳しく説明して頂き、日本屈指の山城の遺構がよく理解できました。

この企画に参加させて頂き、大河ドラマ“江”を見るのが、なお一層楽しみとなり、私にとって心に残るTourになりました。

(篠原さん)

浅井三姉妹の誕生の地で、ドラマの原点といわれる小谷城は全国一の堅固な山城で、小石一つも文化財ですと、地元のガイドさんから誇らしげに説明を受けました。城跡に登り、山全体がお城という形態を初めて知りました。攻めにくく、守りやすい城・・・信長が攻めあぐねたことを伺い知ることができ、興味深い城跡でした。

(武村さん)

姉川古戦場に立ち、ここで浅井・朝倉軍一万八千人と織田・徳川軍二万八千人が、姉川を「黒血川」や「血川」と呼ぶほどの壮絶な戦いを繰り広げた事を聞き、目の前を一瞬戦いの大絵巻が、通り過ぎました。

また、“江”の誕生地である日本五大山城の一つの小谷城跡から、織田軍が陣を置いた横山を望み、浅井長政もこの景色を見ていたのだと思うと、何やら不思議な感覚を覚えました。年を重ね、歴史に興味が出てきた今日この頃、「一日歴女」をさせて頂き感謝致します。

(藤本さん)

小谷城は、全部歩いてみたかった。石田三成の生誕地・資料館は、普通はなかなか行けないところなので、行けてよかった。案内が全部にあったことも、よかった点でした。

長浜の黒壁をゆっくり見て回れなかったのが残念で、もっと時間がほしかったです。

また参加させて頂きたいので、機会があれば是非誘ってください。

皆様よろしく

## 新規入会員(16期生)の自己紹介

浮田輝代

I love ITAMI

結婚して40数年、尼崎の住民であり続けている。町のイメージをより良くという願いから、近松と寺町にどっぷりつかっている人間がなぜ伊丹に魅せられるのだろう。

歴史が好きで荒木村重に興味がある。最近では白洲次郎までが登場し益々…の感じだ。緑の多い豊かな文化の香りのする良い町だと思う。

市が文化財を大切に市民と一緒に取り組んでいることに感謝、文化財ボランティアの会に入会できたことに乾杯！

瀧内和之

みやのまえ文化の郷の勤務中は大変お世話になりました。歴代の会長様はじめ会員の皆様のご努力により、伊丹市にとって「文化財ボランティアの会」が伊丹市の街づくりにおいて、なくてはならない大きな役割を占めることに大変感銘を受けました。

個人的に、市の仕事を終えた後の人生をどうするか考える中、是非とも皆様のお仲間に加えて欲しいと思いました。社会教育課長時代「旧岡田家」の解体補修にも携わりましたので、その辺のところを皆様にもお伝えできればと思っています。

どうかよろしく願い致します。

丹野順子

伊丹には鈴原町、梅ノ木、東有岡、また鈴原町と通算35年ほど(途中4年間は西宮市)住んでいます。

PTAなどで聞いた地域や伊丹の歴史に興味を持ち、それが文化財ボランティア養成講

座を受講するキッカケになったように思います。歴史の流れや同時代の横のつながりがまだまだ理解できておらず、少しずつつなげていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

藤原真佐美

私が入会したきっかけは、昨春、受講した「やさしい英語でガイドする」という生涯学習の講座でした。

『自分の住んでいる町を案内する』という課題が出て、自分の英語力の有無以前に、長年住んでいる伊丹なのに、自分がどこを案内したいかもわからないことを痛感しました。そんなおり、文化財ボランティアを知り、『これだ！』と飛び込みました。

いつか先輩諸氏のように、自分の言葉で語れるよう、頑張ります。

松田孝雄

生まれ育ちは尼崎の園田、昭和55年に行基町に住み始め、現在に至っています。

もともと建設会社勤務の土木屋でしたが、昨年3月に3年間のロスタイムが終了して退職、毎日が日曜の身になりました。

郷土の地理、歴史について関心があり、また社会とのつながりを保ちたいという思いで入会させていただきました。

趣味は還暦の頃に始めたロードバイクで六甲、北摂の山間部を走ること、孫の用具、おもちゃを木工製作することです。

先輩の皆様方、よろしくご指導の程をお願いします。



## 訃報 黒田洋志さん(13期生)

謹んでご冥福をお祈りします

### 黒田さんの思い出 富永佳代

一昨年、グループの忘年会で黒田さんの隣席になりました。「どちらの病院に通っておられるのですか？」と尋ねた私に「T市です。手術を勧められているけれど受ける勇気がないのです。」と言われました。率直な言い方に驚いたのと、内容の重みからその時は言葉を返せませんでした。勇気がないと言われましたが自分の命と真剣に向き合う時は誰でも畏怖を覚えるのではないのでしょうか。

昨春の研修旅行の時、琵琶湖北の賤ヶ岳で黒田さんは助けてもらいながら、一生懸命登られました。迷惑をかけると、ご自身言われたことがあります。自分と周囲をおおらかに見ることが出来る黒田さんを「えらい」と思いました。私なら引いてしまう。「会」の人達を信頼しておられるからだと思いました。

前向きに生きられた黒田さんが賤ヶ岳のリフトに乗って感じられた爽快感と、山上からの素晴らしい眺望を、共に登った者として懐かしく思い出します。

ご冥福をお祈り申し上げます。

## 活動記録(5月～7月)

### 案内ガイド

・5/20(金) 郷町館(シニア C・ハイキング C 大阪) ・5/21(土) C コース(市民案内 伊丹) ・5/24(火) A コース(阪神南再発見クラブ 西宮) ・5/26(木) D コース(松寿会 神戸) ・6/5(日) 旧岡田家(白鷹緑水苑 西宮) ・6/15(水) A コース(高齢者大学錦成学

・6/15(水) A コース(高齢者大学錦成学園 学園 明石) ・6/18(土) D コース(市民案内 伊丹) ・6/25(土) B コース(伊丹文化財愛護少年団 伊丹) ・7/14(木) A コース(歩け歩け協会 神戸) ・7/16(土) E コース(市民案内 伊丹)

### どんぐり座公演

・5/28(土) 旧岡田家 伊丹市文化財愛護少年団 紙芝居 ・6/4(土) アリオ住宅子供会 紙芝居 ・6/7(火) 春日丘センター 春日丘自治会 子ども会 紙芝居

### 歴史ロマン体験学習の支援

・5/14(土) クサビ形文字を使ってみよう  
・6/4(土) 星座台を作ろう ・7/ 2(土) ポンポン船を作ろう

## 今後の活動予定(8月～10月)

### 定例会

8月9日、9月13日、10月11日(中央公民館)

### 有岡城跡清掃

毎月第4火曜日午前9時30分～

### 夏休み子供わくわく教室

8/23(火) 中央公民館 紙芝居、ペープサート 勾玉作り

### どんぐり座公演

・8月23日(火) 中央公民館 わくわく教室 ペープサート、紙芝居  
・10月20日頃 南小学校 ペープサート、紙芝居の依頼 詳細未定

### 市民案内ガイド

・9/17(土) F コース(市民案内 伊丹)

### 歴史ロマン体験学習の支援

・8/6(土) レターラック作り  
・9/3(土) 粘土板で表札作り

### 編集後記

今回より火曜通信の編集を(いつのまにか?)担当することになりました。経験不足で不行届きの面が多々あると思いますが、新入会員であることに免じてお許しください。これから充実した紙面作りに励みたいと思いますので、会員の皆様よろしくご協力のほどをお願いします。

暑さ厳しいおり、会員皆様には健康に十分留意されますように。(TM)

